



令和初の新成人
大人への一步を歩みだす

特集 河津町成人式 昔ばなし絵本作り

未来へ羽ばたく 晴れやかな新成人



中学時代の恩師、来賓、出席した新成人全員で集合写真

令

和2年河津町成人式が
1月12日、河津中学校
体育館で行われました。新成
人68人（男41人・女27人）の
うち55人が出席し、成人とし
て責任と自覚を胸に飛躍する
ことを誓いました。

晴れ着に身を包み、あふれ
る笑顔で会場に集まった新成
人たちは、懐かしい友達との
再会を喜び思い出話に花を咲
かせたり、互いの晴れ着姿を
撮影し合ったりして門出の日
を過ごしました。

令和初の成人式が始まると、
来賓から祝福と激励の言葉が
贈られ、新成人たちは凛とし
た姿で聞いていました。岸重
宏町長は、「二十歳という記念
すべき成人の節目は、人生に
とって大きなものです。ふる
さと河津に誇りと愛着を持ち、
皆さまの手で新しい時代を築
いていくてください」と、新
成人にエールを送りました。

新成人を代表して、島崎彩
香さんⅡ長野Ⅱが岸重宏町長
から記念品を受け取り、楠孝
納佑さんⅡ笹原Ⅱが謝辞を読
み上げました。

これからそれぞれの道へ進
み未来へ羽ばたく新成人を多
くの人が見守りました。

新成人のことば

活気あふれる河津を
次世代につなぐ

新成人代表

楠 孝納佑さん（笹原）
こうのすけ

本

日は、私たちのために、
このような盛大な成人式
を催していただき、ありがとう
ございます。お祝いと激励の言
葉をいただきまして、町長、来
賓の方々、ご出席いただいた皆
さまに感謝申し上げます。

新成人一同、この自然豊かな
河津町に生まれ、今こうして
「河津町」の新成人として誓い
を共にし、このふるさとを自分
たちの誇りとして心に刻んでい
きたいと思います。そして、後
に続く後輩たちの見本になるよ
うな社会人を目指していきます。
私は高校から親元を離れさま
ざまな地域を肌で感じてきまし
た。その中で、生まれ育ち仲間
と苦楽をともにしたこの河津町
にはたくさんの魅力があります。
河津桜を代表に色鮮やかな四季
折々の自然、あたたかな地域の
人々など「田舎」ならではの魅
力があります。

ハタチの姿 「新成人が考える将来」 アンケート結果

賀茂地区の成人式会場では、賀茂地域広域連携会議若者定住専門部会による成人式アンケートが行われました。河津町参加者の回答は次のとおり。

◆回答 39人/新成人68人中
(平成11年4月2日生～平成12年4月1日生)

Q1) 今住んでいるところは？

町内 11人
県内 10人 (河津町以外)
県外 18人

Q2) 現在の状況は？

町内で働いている 5人
町外で働いている 9人
学生 25人

Q3) 将来、河津で生活したい、生活し続けたいと考えていますか？

はい 15人
いいえ 10人
わからない 14人

Q4) Q3で「いいえ」「わからない」と答えた理由は？ (複数回答可・抜粋)

就職先 18人
地震・津波の不安 5人
結婚・子育ての不安 3人
日常生活が不便 3人

Q5) 河津町に魅力を感じていますか？

感じている 31人
感じていない 1人
わからない 7人



1) 華やかな晴れ着姿の新成人 2) 新成人を祝うたくさん花の前で記念撮影 3) 懐かしい友達との再会を喜ぶ 4) 真剣な顔でアンケートに答える 5) 謝辞を述べる楠さん 6) 記念品を受け取る島崎さん 7) 新成人には河津桜の切枝が配られた

しかし、近年は高齢化も進み、若者離れが河津町にも顕著に表れています。こうした状況が続けば、私たちの故郷はこの先に明るい未来はないと思います。河津町に必要なのは、若者が帰りたいと思える環境だと思います。例えば、交通の便、育児施設の充実、雇用機会など多くの問題があります。これからの社会を担っていく私たちはこのような問題に真摯に向き合い、解決していくことが私たちの責任だと思っています。そして、何年、何十年も成長し続け、活気あふれる河津町を作っていく、次の世代につながる如果不能ならんと思います。社会の一員としてこの河津町を誇れるものにできるよう、精進する覚悟です。

今日、私たちがこうして集い、成人式を迎えられるのは、私たちを支えてくださった両親や家族、導いてくださった先生方、そして地域の方々、共に歩んだ仲間たちのおかげです。この感謝の気持ちを忘れず、成人としての決意を忘れず、力強く、やさしく、たくましく生きていくことを誓って新成人代表のあいさつとさせていただきます。

(抜粋)

わらしべ会 昔ばなし絵本作り

手作り絵本ができるまで。

昭和56年「やってみようか」と始めたわらしべ会の絵本作り。
昭和から平成にかけて、昔ばなしを掘り起こし絵本を作り続けた日々。
時を越え、令和になった今、わらしべ会の手作り絵本の普及版が製作されました。
ゆつくり、絵本をめくるように、作りつづけた日々をお聞きました。

Chapter 1 読むから作るへ

始まりは昭和50年代。町立
南小学校の家庭教育学級の
「読書会」で一緒になった仲
間10人ほどが、子どもたちの
卒業後も活動を続けようと集
まりました。

きっかけは読書会

家庭教育学級修了後も、独
自の読書会の活動は続きまし
た。毎年、県が主催する読書
会の研修にも参加するようにな
りました。

今のように保育園や学童保
育などが充実していなかった
時代、子どもを連れ、長泉町や
三島市、遠くは掛川市や静岡
市へも出かけていきました。
芥川賞、直木賞が発表される

と、感想を話し合い、読書の
楽しさを深めていきました。

絵本作りとの出会い

ある読書会の研修で、水墨
画で描いた絵本を制作してい
るグループに出会いました。
それまで読む側だったメン
バーたちに「河津に残る昔ば
なしを伝承した絵本を創作し
たい」という気持ちが高まり
ました。

そのころ、伊東市で絵本作
りをしていた宮内卯守^{しげもり}さんに
依頼し、絵本の作り方から製
本、文章の書き方などを教わ
ることになりました。

コミュニティセンターで開
催した2回の講習会を経て
「やってみようか」と絵本作
りが始まりました。

「わらしべ会」の発足です。

Chapter 2 絵本の創作

お話を聞きに歩いた日々

絵本作りは、昔からの物語
や伝説・民話などを子ども向
けにわかりやすく書き直す「再
話」から始まります。

まずは題材となるお話を探
し、町内各地を尋ねて歩きま
した。100歳になるおばあさん
にも直接お話を聞きました。
「どういうふうに上手に聞き
出せばいいのか」が一番苦労
しました。

当時会長だった長岡倫子^{みちこ}さ
ん（故人）は、新聞社の取材
に「埋もれた話を掘り起こし
ていきたい」といふ思いと、『私
たちが今聞いておかないと』
という使命感から、力が入り

わらしべ会（会長 太田幸子さん）

昭和56年結成。延べ会員数は12～3人。現在の会員は4人。河津に残る昔ばなしの手作り絵本を制作。現在は、絵本作りで培った絵や切り絵を生かし、寝たきりの高齢者と認知症の人に、誕生カードを制作し贈り続けている。平成元年10月賀茂郡社会福祉協議会長表彰、平成3年10月県社会福祉協議会長表彰、平成5年11月河津町篤行表彰を受賞。

「わらしべ会」は、1本の藁から長者になったおとぎ話「わらしべ長者」からとった。

（写真左から）寺林芳子さん、太田幸子さん、杉崎道衛さん、吉野登代子さん



ました」と言葉を残して
す。たくさんの人に協力して
いただきました。

絵本にする昔ばなしの題材
は、誰もが知っている「河童
のかめ」や「鳥精進酒精進」
などのお話ではなく、あえて
地域に埋もれているお話を選
びました。昭和56年、2つの
グループに分かれ『たぬきと
すいてんさん』『くもになった
おしっこ』2つの絵本作りが
始まりました。

Chapter3 すべて手作り

絵本は、すべて手作りで、
1年に1冊のペースで作られ
ました。絵本作りの順序は、
お話を聞き、構成する要素を
決め、それを絵と文にしてい
きます。絵を描く人、色を塗
る人、文字を書く人。それぞ
れが得意な分野を担当し、分
業で行いました。

作画と文字入れ

絵は当時の時代考証、衣装
や髪形などにも気を配りまし
た。絵を描く人によつては、
色や顔の描写が優しくなつた
り力強くなつたり、変化があ

くのも手作りならではの。

文章作りは講習会でも特に
丁寧に取り扱っていました。ペー
ジ数に合わせた物語を作り、ど
こでどうやって文章をきるの
か。作文とは違う絵本の再話
は考えていたよりもずっと大
変でした。

全ての製本ができあがつて
から文字を書き入れていきま
す。最終工程の文字入れを担
当していた杉崎道衛さんは、
「1字でも間違うと、1年か
けてみんなが作った絵本が台
無しになってしまうので本当
に緊張しました」と当時を振
り返ります。手で描く大切さ
が伝わってきます。

製本は材料を持ち寄って

絵本の材料はメンバーが持
ち寄りました。一番大変だつ
たのは背表紙裏表紙作り。材
料は、当時紳士服の箱や板目
表紙に使われていた堅い紙を
再利用しました。

制作を重ねるうちに道具の
良し悪しもわかるようになり
ました。のり、ボンド、筆、
画材にはメンバーこだわりの
定番ができました。製本後、
百科事典を重ねて重しをした

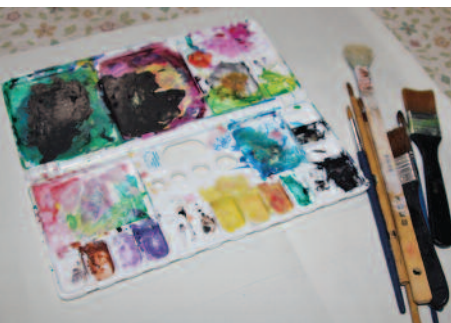
のも懐かしい思い出です。

影の力

絵本の制作場所は、当時会
長だった長岡さんのご自宅（専
光寺Ⅱ谷津Ⅱ）でした。完成し
た絵本が色落ちしないように
ワックスを塗ったり、アクリ
ル絵の具や絵筆などの画材を
仕入れたり、効果的な表現方
法など本格的な製本のアドバ
イスは、長岡さんのご家族で
学校で図工を教えていた倫昭
さんらの協力がありました。

メンバーは今でも「あの場所
があったから」と思い返し、
絵本作りの「影の力」と感謝
の言葉を口にしています。

絵本の制作は、週に2〜3
回。発行の1カ月前ともなる
と連日の作業になりました。
夜中の12時過ぎまでかかるこ
ともあり、真っ暗な中、歩い



絵本作りに愛用していた筆とパレット

て帰ることもしばしば。中に
は、幼稚園の子どもを持つマ
マさんもいましたが、「若かつ
たから何でもできた」と当時の
自分を誇らしく、懐かしく振
り返りました。

昭和時代のママ友

子どもがきっかけでできた
今でいう「ママ友」のみなさ
ん。会を離れても、遺跡発掘
などさまざまな活動を一緒に
やりました。

「バイタリティだけ。利益と
は関係なかった」。もちろん家
族の協力がありました。「いろ
いろなことをやってきたから
続いていた。『やりたい』を探
していたのかもしれない」と
話します。

反響

作られた絵本は、毎年11月
に行われる町民文化祭で披露
されました。制作を重ねるう
ちに、「こんな話があるよ」と
お話を書いて持ってきてくれ
る人もいました。

見高神社に伝わる『牛の舌
餅』では、絵本をきっかけに
東小学校で劇が作られ、物語



製作した全20冊の絵本

わらしべ会が製作した全20冊の絵本。現在は町
立文化の家図書館で保管されています。毎年秋
に開催される町民文化祭で展示しています。

の中に出てくる舌餅を作るなど相乗効果も生まれました。一方で、絵本を読んだ人から「お話が違う」と言われたこともありました。それぞれの人が、それぞれの時期に、それぞれの場所で口で伝えられてきた昔ばなし。百人いれば百通りの言葉で、伝えられているのも昔ばなしならではの。

Chapter 4 未来へ

復刊するきっかけ

わらしべ会の手作り絵本20冊は、長い間、歴代会長の自宅に保管されていました。年に1回、町民文化祭でお披露目する以外、絵本が開かれることはありません。文化祭での展示を重ねるたびに、手に取る人から「このままではもったいない」という声が聞かれるようになりました。

現在の太田幸子会長が、自宅に保管されていた絵本を町民のみなさんに読んでもらえないかと、教育委員会に相談しました。

この世に1冊しかない手作

り絵本。素人の手作りとは思えない丁寧な製本と温かみある絵で描かれた原本は、町立文化の家図書館で保管することになり、昨年、普及版の製作が決まりました。普及版はA4版。時代に合わせた読みやすいサイズに形を変えたものの色は当時のままよみがえりました。

作られた普及版は3作品各20冊。図書館で貸し出されるほか、町内の幼稚園、小中学校に配られ、福祉施設へも寄贈されました。新聞に掲載されると、売ってくれないかという問い合わせもありました。数に限りがあり、メンバーも手に入らない貴重な普及版です。今後は、年3作品ずつの製作が決まっています。

未完の1冊

結成当初12〜13人いたメンバーも現在は4人。わらしべ会には、未完となった一つのお話があります。

集大成として1冊の絵本を作りたいと話していましたが、メンバーの急逝や年齢を重ねることにより家庭環境も変化し、叶わぬままとなりました。

読み継がれる絵本

お気に入りの1冊を聞きました。太田幸子さんは、『不動の松』。それまで2つ折りだった絵本に背表紙をつけました。吉野登代子さんは、『こころのふるさと』。あちこちで聞き歩いて、温かみを出すために貼り絵をやってみました。杉崎道衛さんは、『一番最初に手にとった1冊目の『ためきとすいてんさん』。長岡さんが『すいてんさん、すいてんさん』と言っていたのが忘れられませんか。寺林芳子さんは、『長野原のおはなし』。どの本もできあがりを手にとつては、きれいだなと眺めています。

子育てと同じ時期に、お話を育てていった仲間たち。そこには、完成したお気に入り1冊でははかれない絵本作りに費やされた充実した時間がありました。子どもが巣立つのと同じように、時代を越え独り立ちしていった絵本たち。『私たちの手から離れた気がする』と話すわらしべ会の手作り絵本は、令和の時代に読み継がれています。

「わらしべ会」×文化の家図書館

「河津の昔話を聞こう！」

よみがえった絵本の世界



町 立文化の家図書館主催の「河津の昔話を聞こう！」が1月11日、生涯学習室で行われ、小学生から大人まで幅広い世代の44人が参加しました。わらしべ会と図書館長が、絵本作りにまつわる話を対談しました。また、スクリーンに大きく映し出された普及版の絵本に合わせ、朗読サークル「bulbul」（下田市）が絵本の昔ばなしを朗読し、集まった子どもたちは、物語に引き込まれ、昔ばなしの世界を楽しみました。

普及版で復刊した3冊

今年度、普及版第1弾としてよみがえったのは『牛の舌餅 見高神社に伝わる話』『八丁池の主』『不動の松』の3冊。普及版は町立文化の家図書館で貸し出しています。



不動の松
(昭和58年・縄地)



八丁池の主
(昭和60年・八丁池)



牛の舌餅 見高神社に
伝わる話 (平成6年・見高)

手作りの絵本たち。

わらしべ会が作った絵本作品は19話20冊。
誰もが知っているお話ではなく、表舞台に出てこないような物語。
1年に1冊のペースで作り上げた手作り絵本をご紹介します。
※絵本タイトル後ろは完成年・お話の地域など



たぬきとすいてんさん
(昭和56年・谷津天嶺山)



くもになったおしっこ
(昭和56年・創作)



竜とつり鐘
(昭和57年/2冊あり・石川県の民話)



河津の七滝
(昭和59年・河津七滝)



ふるさと
(昭和60年・伝統の行事)



足を切られた佛様
(昭和61年・峰)



火防地蔵
(昭和61年・浜)



ほうそうばあさん
(平成元年・川合野)



長野原のおはなし
(平成3年・見高)



峠の茶屋
(平成4年・見高入谷)



天狗に助けられた順教さん
(平成5年・南禅寺)



見高のべんてんさま
(平成5年・見高浜)



空をとんだ天狗
(平成7年・大堰)



河童の墓
(平成8年・見高入谷)



ころ柿山の天狗
(平成9年・浜)



こころのふるさと
(昭和59年・わらべ歌)

まちの 出来事

1年の無火災を祈る

河津町消防団出初式

河津町消防団出初式が1月5日、河津中学校グラウンドで行われました。

式典には団員215人が参加し、服装や機械器具の点検、功労者表彰、規律訓練の披露などを行いました。

式典終了後は、河津中学校吹奏楽部の先導で同校から荒倉橋までの約500メートルを行進するパレードを行い、河津川沿いで放水訓練を披露しました。

団員たちは式を契機に今年1年の無火災無災害の決意を新たにしました。



笹原公園前を行進する消防団員

新成人がおんべに点火

浜区 どんと焼き

浜同志会は1月12日、地元の新成人を迎え、どんと焼きを行いました。毎年成人式開催日に合わせて行われ、地域住民が新成人を祝う伝統行事となっています。参加した浜区出身の新成人7人は、抱負や成人の喜びを述べ、高さ5メートルのおんべに点火を行いました。集まった地域住民らは高く燃え上がる炎に1年間の無病息災を願いました。



おんべに点火する浜地区新成人

「さかさかわ実りの里」会員の指導のもと鏡餅づくりに挑戦



正月の鏡餅づくりを体験

都市と農村の交流事業 餅つき

都市と農村の交流事業として「餅つき」が12月21日、河津さくらの里しぶやで行われました。町は防災協定を結ぶ渋谷区と年間を通して交流を行っています。餅つきでは、会場に宿泊する渋谷区民16人が逆川区有志「さかさかわ実りの里」の指導のもと、餅つきや鏡餅づくりを体験しました。参加者は、その場でついた餅を食べて「おいしい」と笑顔になっていました。

新年を祝う元旦餅つき体験

河津バガテル公園 元旦イベント

河津バガテル公園元旦イベントが1月1日、河津バガテル公園で開催され、多くの町民や観光客約300人が来場しました。園内では、初日の出観賞の後、餅つき大会が行われ、訪れた子どもたちは大人と協力しながら餅つきを楽しみました。ついた餅はその場で振る舞われ、訪れた人はあんこやきな粉をつけて自分たちでついた餅をおいしくいただきました。



餅つきを体験する来園者

行列ができるほど人気の金目鯛鍋に並ぶ来場者



豪華な海の幸を堪能

今井浜見高港 のりぞめ祭り

今井浜見高港のりぞめ祭りが1月13日、舟戸の番屋で開催され、多くの観光客や地域住民でにぎわいました。会場では、つきたてのお餅や温かい金目鯛鍋、サザエのつば焼きなどが振る舞われ、伊勢エビやサザエが当たる抽選会も行われ、大いに盛り上がりしました。

開始時間前から多くの来場者が訪れ、来場者は海辺の景色を見ながら豪華な海の幸を堪能しました。

Topics

冬の白馬で交流を深める

河津東小・白馬南小 姉妹都市スキーク交流

16日のスキー交流では、東小の児童が白馬南小の児童にブーツの履き方や滑り方を教わりながら、一緒にスキーを楽しみました。初めてスキーをする児童がほとんどでしたが、すぐに上達し、ゲレンデを楽しそうに滑り、白馬南小児童との交流を深めました。

河津東小学校5年生11人と白馬南小学校5年生20人が1月15日から17日にかけて、姉妹都市長野県白馬村白馬五竜スキー場で児童交流を行いました。両校の児童交流は、初夏に河津、冬に白馬と互に行き来し、毎年行われている伝統行事です。



ゲレンデに集まった両校児童



最終日には自由に滑る東小児童

白馬南小児童に滑り方を教わる東小児童

伊豆は山と海の景色が魅力的

高沢 幸祐 さん

たかざわ こうすけ

地区 笹原

21歳 血液型A型 かに座

河津森林事務所（営林署）

高沢幸祐さんは、東京環境工科専門学校で自然環境を保全・管理する技法を学んだ後、昨年4月に農林水産技官として河津森林事務所に赴任しました。高校時代に、映画『WOOD JOY B!〜神去なあなあ日常〜』で、木を切り倒すシーンをみてかっこいいと思い、専門学校に進みました。専門学校では、チェーンソーの免許を取って木を切ったり、植物を調べたりしました。

現在は、国有林の保全管理が主な仕事で、晴れの日には天城の国有林を回ります。「伊豆は、山と海の景色が見られるのが魅力です」と笑顔で話してくれました。海のない埼玉県大宮市で育ち、伊豆には来たことがなかったとのこと。河津町の印象は、『海がある』でした。埼玉県はサッカーの盛んな県で、高沢さんも幼稚園からサッカーを始め、ゴールキーパーとしてゴールを守っていました。高校時代には県大会にも出場した実力を持っています。

【取材】久保田真琴さん（民間広報協力員）



▲河津桜まつり

河津町地域おこし協力隊通信

菜の花だより vol.5



和田 佳菜子 (31歳)

浜松市出身。2018年6月、河津町地域おこし協力隊に着任。

<https://www.facebook.com/kawazu.kyouryokutai/>

河津町観光協会
@kawazu.kanko

出身地の特産花を知る

いよいよ『河津桜まつり』が始まります。昨年初めて見たピンクに色づく街並みは、とても華やかで、歩いているだけで女子力アップのご利益がありそうなかわいらしさがありました。毎年この景色を見てきた町民のみなさんがうらやましいなと思いながら、ふと私の出身地の特産花を思い出しました。

私の出身地である静岡県浜松市が日本一の生産量を誇る花をご存じですか？ 河津でも手軽にスーパーなどで購入できる「ガーベラ」なんです。花にはそれぞれ花言葉がありますが、ガーベラの花言葉に「一歩」というものがあります。ガーベラの花も好きでしたが、花言葉を

知ってからさらに好きになりました。ちなみに河津の特産花であるカーネーションは「母への愛」という花言葉が一般的。母の日のプレゼントとして贈られる花として有名なので納得ですね！ 私も母の墓前にはいつもカーネーションを供えています。花ひとつをとっても、楽しみ方はいろいろですね。いろいろな花をさまざまなカタチで楽しめる余裕と興味をもって生活できるようにになりたいです。

ちなみに、河津桜のように早咲きの桜には「気まぐれ」という花言葉があります。河津桜まつりまであと少し。「気まぐれ」な桜が、今年はどんな風景を見せてくれるのか楽しみです。



図書館だより

R2.2
No.202

<http://www.town.kawazu.shizuoka.jp/library/>

【開館時間】
9:00～18:00 土・日は17時まで
【休館日】月曜・祝日・月末日
【問い合わせ】
町立文化の家図書館 ☎34-1115

図書館カレンダー 2月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29

■は休館日です。本の返却は返却ボックスへ。

新着DVDが30本入りました！

さまざまなジャンルから選びました。新着DVDの貸出しは一家族1回1本までです。貸出中のものは予約できます。どうぞご利用ください。



河津の昔話を聞こう！ -1/11-

手づくり民話絵本作りにまつわる秘話、河津の民話、昔話の朗読を聞きました。



民話絵本を作ったわらしべ会のみなさんとの対談。手作り絵本への思いが伝わるすてきなお話でした。

静かな語りあり、セリフの掛け合いあり。お話の世界に引き込まれるすばらしい朗読でした。



今月のおはなし会

乳幼児向けの読み聞かせ
はらぺこあむしの会
0・1・2歳児向け 10時10分～10時30分
2・3歳児向け 10時40分～11時
2月6・13・20・27日（毎週木曜日）
幼児向け 10時～10時30分
2月8日（第2土曜日）

小学生向けの読み聞かせ
時間（とき）のはこぶね
15時50分～16時20分
2月5・12・19・26日（毎週水曜日）

※おはなし会は読み聞かせ室で行います。変更がある場合は、図書館に掲示します。

語りかけから、始めよう。
今月のブックスタート
と き：2月27日（木）13時～
ところ：保健福祉センターふれあいホール
対象者：令和元年10月生まれの赤ちゃん

★冬の図書館日記★

クリスマスおたのしみ会が行われました -12/21-



Xmasカード制作遊び



絵本やパネルシアター



サンタさんと一緒にパチリ！



館長のつぶやき…

稲葉修三郎さんが「川津のむかし話」を出版された。少し昔、西小の子供たちと幾度となくお宅に伺う機会があった。日々の暮らしの中で連綿と語り継がれた物語を語る稲葉さんは、まことに好々爺の語り部であられた。それは、また、生活に根ざした素朴な昔話の本来のありようを大切に心がけておられるようにも思われた。
年齢を重ねられてもなお、熱い思いで挑まれる姿勢は、生涯学び続ける人間の典型として、学ぶべきことが多い。

新着図書案内

ほかにも新着図書があります。貸出中の場合は予約できます。

書名（一般書）	著者名	出版社
老いてこそデジタルを。	若宮 正子/著	1万年堂出版
自衛隊防災BOOK2	マガジンハウス/編集	マガジンハウス
ゲーム依存からわが子を守る本	花田 照久/監修 八木 眞佐彦/監修	大和出版
ママとパパのはじめての妊娠・出産事典	藤井 知行/監修 鯨島 浩二/監修	朝日新聞出版
できない相談	森 絵都/著	筑摩書房

書名（児童書）	著者名	出版社
戦場の秘密図書館	マイク・トムソン/著 小国 綾子/編訳	文溪堂
都道府県別につぼんオニ図鑑	山崎 敬子/ぶん スズキ テツコ/え	じゃこめてい出版
英語、苦手かも…？ と思ったときに読む本	デイビッド・セイ ン/著	河出書房新社
イナバさん！	野見山 響子/作	理論社
ドン・ウツサそらをとぶ	キューライス/著	白泉社

かわづで子育て

かわいく

■育児相談

日 時 3月3日(火)

10時～11時30分

場 所 保健福祉センター

ふれあいホール

対象者 子育て中の保護者

内 容 身体測定、離乳食や子どもの食事に関する相談、育児相談
歯科相談

持ち物 母子健康手帳

■健康相談および母子健康手帳交付

日 時 2月17日(月)、3月2日(月)

13時30分～15時30分

場 所 保健福祉センター

持ち物 ・妊娠届出書（病院で配付された場合はご持参ください。）
・個人番号カードまたは通知カード
・身元の確認ができるもの（写真付きでない場合は2種類ご持参ください）
・印鑑

■健診事後教室（要予約）

日 時 2月25日(火)

①未就園児

10時30分～11時45分

②幼稚園年少以上の年齢児

14時30分～16時

場 所 保健福祉センター

ふれあいホール

河津町24時間電話健康相談ダイヤル

育児・医療・健康・介護について
専門スタッフが相談に応じます

☎0120-560-655(年中無休)

●今月のテーマ

住み慣れた地域で 自分らしく暮らす

健康福祉課 ☎34-1937

河津町は、平成31年4月1日現在の人口が、7228人、そのうち65歳以上の人口が、2994人で、高齢化率は41・4%です。このような超高齢社会において、医療と介護の両方が必要となる状態の高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けるためには、地域の医療・介護の関係機関が連携して、在宅医療・介護を一体的に提供できる体制が必要となります。

具体的には、切れ目ない在宅医療と介護の提供体制の構築、医療・介護関係者の研修、地域住民への普及



▲介護予防教室

室内に「賀茂地区在宅医療・介護連携推進支援センター」を設置しています。

啓発などを行なっています。また、その活動を皆さんに知ってもらうため、賀茂地区在宅医療・介護連携推進支援センターのホームページの公開や機関紙発行、パンフレットの配布をしています。<http://www.s-m-a.or.jp/kamo-zaitakushien/>

地域住民への普及啓発の一環として、3月18日(水)13時30分から河津町保健福祉センターふれあいホールで『看取りについて』（講師・合同会社愛彩花代表小池美帆氏）の講演会を開催する予定です。

詳しくは回覧またはホームページをご覧ください。

健康福祉課 遠藤 絹代 保健師

インフルエンザ 流行拡大に注意！

12月の感染症発生動向調査で、県内の定点あたりのインフルエンザ報告数が増加し、「注意報レベル」となりました。

感染拡大を防ぐためには、一人ひとりがインフルエンザに「うつらない」「うつさない」対策をとることが必要です。

問健康福祉課

☎34-1937



「うつさない」・「うつらない」ために

- ▷しっかりと手洗い、うがいをしましょう
- ▷咳が出るときはきちんとマスクをしましょう
- ▷室内の換気を行い、適度な湿度を保ちましょう
- ▷なるべく人混みを避けましょう
- ▷十分な栄養と睡眠をとり、健康管理に努めましょう

※インフルエンザの定点あたりの報告数とは、県内の小児科、内科合わせて139の定点医療機関の1医療機関あたりの1週間の患者数です。

※流行開始の目安とされている報告数は1、注意報レベルは10、警報レベルは30です。

行政

財政

防災

消防

企画

福祉

子育て

介護

保険

健康

議会

窓口

税務

建設

水道

産業

教育



▲町民へ説明する岸町長（見高浜公民館）

町政 Pick Up

12月 →→ 1月

まちづくり事業を町民へ説明

1月20日～24日@町内各所

まちづくり事業町民説明会が1月20日と23日、24日に町内3カ所で行われ、102人が参加しました。岸重宏町長らが、町が進めている主な事業の進捗状況を町民に説明しました。説明会では、▼子育て支援施設▼町立3小学校統合▼河津バガテル公園再生事業（広報かわづ12月号で掲載済み）▼町コミュニティセンター耐震対策についての説明を行いました。説明した内容を抜粋して紹介します。

子育て支援施設 施設の概要が決まる

子ども子育て会議の答申を受け、アンケート調査や説明会を経て、役場現職員駐車場使用地に建設が決定しました。会議で検討し、具体的な建物の概要が決まりました。施設には、子育てサロン、一時預かり事業、ファミリーサポートセンターを設けます。今年

度は基本設計、来年度は実施設計を組み、令和3年度の完成を目指します。

小学校統合準備委員会が 答申書を提出

小学校統合準備委員会が令和元年7月に発足し、小学校統合について検討を始めてきました。全5回の会議を開催し、優先的事項である学校の「形態」「場所」「時期」などについて協議を重ねました。委員会から、令和元年12月24日に鈴木基教育長に提出された答申は次のとおり。

▼町内3小学校を閉校し、新校舎を建設して新たな統合小学校を開校する

①開設時期 令和5年度
②開設場所 河津中学校周辺
当面の間は南小学校校舎を仮校舎として活用する
③学校形態 小中一貫校
町では、1月から2月にかけて各小学校・幼稚園で説明

会を行い、その結果を踏まえて町の方針を決定します。

町コミュニティセンター 耐震化で安全な施設へ

町では、商工会館1階と、2階、3階にある町コミュニティセンターの耐震化事業を町商工会と協定を結び共同で進めています。今年度に耐震性や耐震性の調査検討、実施設計を行います。令和2年度中の完成を目指します。

商工会館や町コミュニティセンターは年間約5500人と多くの町民が使用しているため、耐震工事によりさらに町民の安全安心が確保できるものと考えています。

施設は、調査結果によりますが、津波に対する指定避難所としての活用も検討します。完成後は、地震や河川氾濫などで公共交通機関が使えなくなった場合の観光客の緊急避難先として、また地域住民の一時避難施設として機能を発揮できるものと考えています。詳しくは、町ホームページで公表しています。

町産業団体が決意新たに

1月15日@伊豆今井浜東急ホテル

河津町産業経済活性化連絡協議会による新年賀詞交歓会が1月15日、伊豆今井浜東急ホテルで行われました。協議会を構成する6団体と関係機関から約70人が出席し▼会長岸重宏町長のあいさつ▼町商工会や観光協会、伊豆太陽農業協同組合などの代表による年頭あいさつ▼県特別補佐官などの来賓から祝辞が述べられ、地域活性に取り組む決意を新たにしました。岸重宏町長は「今年は河津桜まつりが30回目を迎えます。工事が進む伊豆縦貫自動車道の日も早い開通を要望していきます」と新年の決意を述べました。



▲土屋優行特別補佐官



2



1



4



3

- 1_家族、友達、仲間と一緒にスタート（5キロコース）
 2_トリムコースを疾走する参加者
 3_完走して笑顔でゴール
 4_走り終えた人に振る舞われた温かいおしるこを味わう

NEW YEAR MARATHON 2020

晴天のもと320人が走り初め！

第

44回元旦マラソン大会
 （町教育委員会主催）

が1月1日、河津中学校グラウンドを発着点とする周回コースで行われました。当日は約320人が参加し、新年の走り初めを行いました。

幼児から大人までの幅広い世代の参加者が、河津中グラウンドから河津川沿いを海へ向かいスタートし、町立文化の家前を通る2キロコース、役場前を通る3キロコース、沢田までの往復を走る5キロコースと、それぞれの体力に合ったコースに分かれ、走り初めを行いました。

親子連れや家族での参加者も多く、親子で手をつなぎ一緒にゴールする姿も見られました。また、所属しているクラブチームでの参加も見られ、元気のよい新年のあいさつも聞こえてきました。参加者には完走証と記念の干支タオルが配られ、温かいおしるこも振る舞われました。

新たな1年を健康で明るく過ごせるようお願いを込め、元旦マラソンを完走し新年をスタートしました。

応援ありがとうございました 県市町対抗駅伝競走大会

第20回市町対抗駅伝競走大会が11月30日に静岡市で開催され、河津町派遣選手団は町の部7位、人口1万人未満市町の部第1位のふるさと賞を3年連続で受賞することができました。

大会後に行われる1,500mトラック競技には、小学生男女2人も参加し、力いっぱい走りました。皆さん、応援ありがとうございました。



▲河津町派遣選手団

生涯学習講座 さくらアカデミー フラワーアレンジメント講座

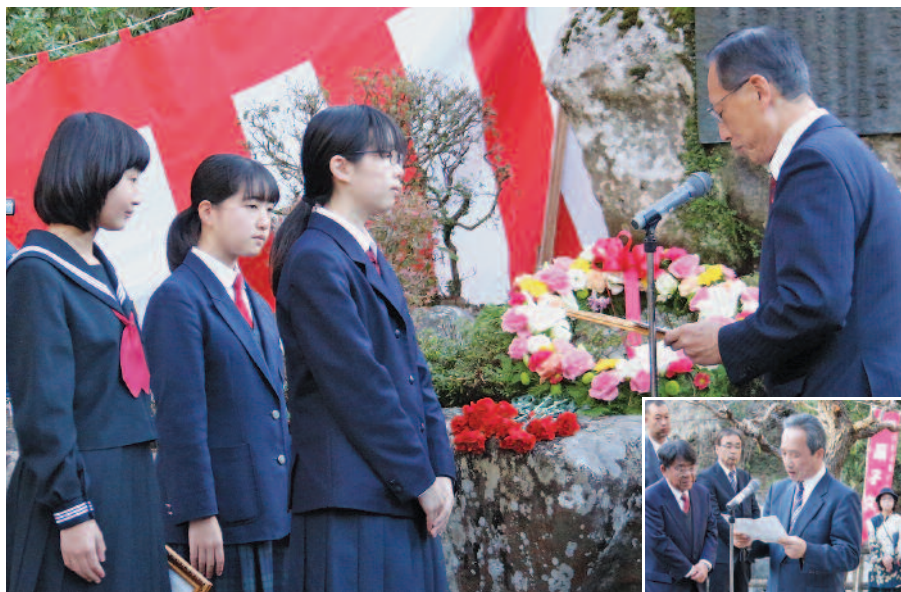
フラワーアーティストとして活躍する後藤清也さんを講師に迎えたフラワーアレンジメント講座が12月5日から26日まで開催されました。

昨年度に続き2回目となる今回の講座では、クリスマスとお正月をテーマに4種の作品を作りました。受講者は、植物の知識を学びながら、思い思いの作品を作りました。



▲リースを作る参加者

「伊豆の踊子」読書感想文コンクール 名作への思いに耳を傾ける



▲表彰された鈴木さん

▲感想文を朗読する森本さん

「伊豆の踊子」読書感想文コンクール（教育委員会主催）の表彰式が12月1日、伊豆の踊子文学祭（湯ヶ野観光協議会主催）で行われました。コンクールでは、最優秀賞3人、優秀賞2人が表彰されました。当日は、小説の一節が刻まれた伊豆の踊子文学碑の前で、受賞者による感想文の朗読が行われ、参列者は名作に対する思いに耳を傾けていました。

▼中学生部門
最優秀賞

高橋杏奈さん（下田中3年）

優秀賞

山下心暖さん（中伊豆中3年）

▼高校生部門
最優秀賞

鈴木優香さん（稲取高3年）

▼一般部門
最優秀賞

森本幸平さん（下田市）
高岡明子さん（下田市）

川端康成の惹かれた伊豆 「悲しきことを楽しく」

一般部門 最優秀賞
森本幸平さん

伊豆は、古くから多くの詩歌や随筆、小説などに描かれてきた。

その中でも、大正十五年に「文芸時代」に発表された川端の『伊豆の踊子』は格別である。

川端は「文学的自叙伝」に、「自作を解説することは、所詮自作の生命を局限することであって、作家自らは知らぬ作品の生きものの所以を、縛り殺すのが惜しまれるのである。作家自身にとっても、作品はあらゆる生物のように謎である。」と記している。そこで、作品の魅力「美しさ」

を作品自体の中に探っていくこととする。

一、美しい表現による巧みな情景描写

伊豆に住む者としては嬉しい表現が随所にある。いずれも伊豆が人の心を和らげ明るくしてくれる場所であること示している。

二、青春のときめく心情を描く豊かな表現

「私」の踊子に寄せる純情な思いが自然なタッチで描かれている。

三、自己肯定を導く伊豆の旅自己否定ばかりしていた自分が自身を肯定できるようになるのである。

時代性を越えた人間としての優しさや心の美しさが、「伊豆の踊子」にはある。（抜粋）

◆今月の納税◆

後期高齢者医療保険料7期、介護保険料6期
3月2日(月)が納期です。

☎ 健康福祉課 ☎34-1937

国民健康保険税10期、固定資産税4期
3月2日(月)が納期です。

☎ 町民生活課 ☎34-1928

河津桜守人サポーター募集

町では、河津桜の育成管理を行って
いくうえで桜守人の活動をサポートし
てもらうため『河津桜守人サポーター』
を募集しています。

河津町の財産である河津桜を守り育
てていく主旨に賛同し協力いただける
個人や団体の皆さんのご応募をお待ち
しています。

内 容 河津桜の桜育成管理（剪定、
ナンバープレート管理、消毒
および施肥など）

活 動 河津川堤防沿い桜並木
(浜橋から大堰まで)

河津駅周辺伊豆急沿線桜並木

期 間 通年 月に1回程度の作業

応 募 氏名、住所、連絡先（団体の
場合は、代表者、連絡先、会員名簿）
を役場産業振興課に電話またはFAXで
お知らせください。

☎産業振興課観光商工振興係

☎34-1946・FAX34-1404



河津桜守人サポーターのナンバープレート管理

密輸情報提供にご協力を

密輸防止には皆さんからの情報が
大きな力になります。「不審な漂流物・漂
着物」や「あやしい言動をする不審者」
などを目にした場合は、税関密輸情報
窓口にご連絡ください。

税関密輸ダイヤル（24時間受付）

フリーダイヤル ☎0120-461-961

税関密輸情報提供サイト

<http://www.customs.go.jp/mizugiwa/mitsuyu/mitsuyu-dial.htm>

☎清水税関支署 下田監視署

☎22-0257

農業用暖房燃料に注意

農業用ハウスなどの暖房用の燃料に
灯油などを使用する場合、貯蔵・取り
扱い量によっては消防署への届出、市
町長の許可、漏れの対策などが必要に
なります。下田消防署管内で危険物漏
洩事故が発生していますので、流出止
め（防油堤）の設置やタンクの固定、
標識・掲示板の設置をしてください。

火災予防条例に基づく届出が必要な量
灯油・軽油 200ℓ以上1,000ℓ未満
重油 400ℓ以上2,000ℓ未満
**消防法に基づく市町村長の許可が
必要な量**

灯油・軽油 1,000ℓ以上
重油 2,000ℓ以上

無届、無許可の場合、重大な違反と
なりますのでご注意ください。

☎下田消防本部予防課危険物係

☎22-1849

国有林モニターの募集

関東森林管理局では「国有林モニター」
を募集します。モニターの皆さんには、
定期的に広報紙などを送り、アンケー
トへの回答や現地視察への出席などを
お願いします。

募 集 令和2年4月から2年間
70人程度

締 切 2月25日(火)まで

詳細は関東森林管理局ホームページ
をご覧ください。

☎関東森林管理局

☎027-210-1150

スマホの利用に注意

多くの子どもがスマートフォンを持
ち、SNS（ライン、インスタグラムな
ど）を利用していますが、使用方法を
子どもの判断に任せていると、思わぬ
トラブルに発展する場合があります。
トラブルから子どもを守るために、家
庭でのルールを決めましょう。

☎下田警察署管内防犯協会

☎27-2766

ごみの減量にご協力を

平成30～令和元年度にエコクリーン
センター東河の大規模改修工事を実施
しています。この間、通常2炉の焼却
を1炉ずつの交代運転としますので、
ごみの減量にご協力をお願いします。

【ごみの量実績】

平成30年12月	令和元年12月	前年比
304トン	338トン	+34トン

【ごみの分類誤りが増えています】

ペットボトルや雑がみなど再利用で
きる資源ごみを燃やすごみで出してし
まうと、それらを仕分けることはでき
ません。燃えないごみで出しても、発
火する乾電池など違う分類のごみが混
入していると火災事故や故障の原因に
なります。

ごみの出し方に困ったときは「ごみ
の出し方便利帳」や町のホームページ
で再確認をお願いします。

☎町民生活課窓口係

☎34-1932

勤労者美術展作品募集

県労働者社会福祉協議会などの主催
で「第70回静岡県勤労者総合美術展」
を開催します。県内で働く人ならど
なたでも出品できます。(出品部門で指導
的立場の人を除く)

募集作品 絵画・書・写真・手工芸・
コンピューターグラフィック
など

応募期間 2月25日(火)～3月13日(金)

作品受付 3月27日(金)までに、労働
金庫本・支店、こくみん共
済coop(全労済)静岡推進本
部・各共済ショップ、県労
働者福祉協議会へ

展示会場 グランシップ

展示ギャラリー

展示期間 4月8日(水)～4月12日(日)

※応募方法など詳しくはお問い合わせ
ください。

応募作品はすべて展示します。

☎(一社)静岡県労働者福祉協議会

☎054-221-6241

ひとの動き

戸籍だより

(12月1日～31日届出)

相 談

身近なこと生活相談へ

日時・場所

2月19日(水) 10時～15時

保健福祉センター ボランティア団体室

3月4日(水) 10時～15時

保健福祉センター ふれあいホール

☎社会福祉協議会 ☎34-1286

人権・行政相談

日時・場所

3月4日(水) 10時～15時

保健福祉センター ふれあいホール

☎町民生活課窓口係 ☎34-1932

介護・法律相談

日時・場所

2月19日(水) 介護相談 10時～12時

法律相談 13時～15時

保健福祉センター 相談室2

法律相談は事前に予約をしてください。

☎社会福祉協議会 ☎34-1286

日本年金機構出張相談

三島年金事務所の職員が年金制度についての質問や年金の請求、各種書類の提出などを受け付けます。

日時・場所

2月21日(金) 東伊豆町役場(要予約)

3月6日(金) 下田市役所(要予約)

9時30分～11時30分、13時～14時

電話予約をしてください。

☎東伊豆町役場健康づくり課

☎0557-95-6304

下田市役所市民保健課

☎22-3922

介護・認知症介護相談

介護相談

2月15日(土)、3月7日(土)

10時～15時

サンシニア河津 相談室

☎サンシニア河津 ☎32-3203

認知症介護相談

2月22日(土) 13時～15時

☎サンシニア河津 みねの家

☎32-1158

お知らせ

税関街頭キャンペーン

清水税関支署下田監視署は、下田海上保安部や下田警察署とともに河津桜まつり期間に会場で街頭キャンペーンを行います。税関マスコットキャラクター「カスタム君」も参加しますので、ぜひ来て下さい。

日 時 2月26日(水)

13時30分から30分程度

場 所 河津桜まつり会場

(笹原公園)

☎清水税関支署 下田監視署

☎22-0257

ゲートキーパー研修会

賀茂健康福祉センターでは、ゲートキーパー研修会を開催します。

ゲートキーパーとは、身近な人の自殺の危険を示すサインに気づき、適切な支援につなげる人のことです。

日 時 3月6日(金)

13時30分～15時45分

場 所 下田総合庁舎 2階第3会議室

対 象 関心のある人はどなたでも

内 容 ゲートキーパー研修会

(ゲートキーパーとは・自殺

の現状・声のかけ方)

災害時の応急処置

申 込 3月5日(木)までに電話申込

☎・申込先 賀茂健康福祉センター

☎24-2056

※このコーナーに掲載を望まない場合は、お申し出ください。

人口と世帯

(1月1日現在)

人 口 7,189 人 前月比(−2)

(男) 3,482 人

(女) 3,707 人

世帯数 3,340 世帯 前月比(+3)





栽培している食用バラ

kawa-jin

かわづの



食用バラが町の魅力になれば

『伊豆ばら園』のオーナー後藤治也さんは、5年前から食用バラの研究をはじめ、今年、バラジャムを製品化させる。昨年の秋の台風で、研究を行っていたハウスが一部飛ばされ、栽培は振り出しに戻る状態になったが、そんな困難にも負けず、ようやく完成にこぎつけたという。「花を観賞するだけでなく、色や香りを食べて楽しみ、暮らしの中でもバラをもっと感じてもらえたら」と語る。

河津町におけるバラ生産の歴史は長く、先代の後藤利雄さんが仲間たちと始めたのは60年以上も前のことだそう。バラ部会も設立され、現在の「花の町河津」の礎

になったとも言える。後藤さんの食用バラの開発研究も、河津バガテル公園と共同研究を重ね今回の成功に至っている。「食用バラの企画が、町を挙げての魅力になれば」と後藤さんは語ってくれた。

全国的にエディブルフラワー(食用花)の注目度は高まっているが、バラはまだ珍しい種類に分類される。中でも後藤さんはドフトボルケというドイツのバラに着目した。香りが強く、ジャムにしたときにバラらしい美しい色を出す。バラジャムは今春の販売開始を目指している。河津町の名産が、また一つ誕生するのを楽しみにしたい。【取材】奥水 恵子さん 民間広報協力員



伊豆ばら園 オーナー
後藤 治也さん

ごとう はるや
沢田 60歳

学生時代からずっと花に携わり、平成4年から『伊豆ばら園』のオーナーとしてバラの栽培などを行っている。食用バラは、200坪のビニールハウスで約1,000株を試験栽培している。

ちやとつとつとつ

「印刷できたときは、『私たちの手でできるなんて』と『思った』と話すわらしべ会の皆さん。自分たちで作った絵本を目の前にすると思い出話がたくさん出てきました。子育てをしながらの絵本作り、大変だったはずですが「あの頃の

私たちにはできた」と当時を思い出しては笑顔で話しているのが印象的でした。題材のお話は私の知らないものばかりで面白かったです。普及版を皆さんが読み、ずっと読み継がれてほしい絵本だと思いました。(S)

姉妹都市長野県白馬村通信

スキー場シーズン到来



八方尾根スキー場

です。トップシーズンに入り、日本全国・世界各国からのお客さまをお迎えしている白馬村ですが、さらなる降雪により、余すところなく白馬村の魅力が伝わればと思います。

12月29日(日)、晴天で風のない穏やかな天気予報となっていたため、八方尾根スキー場の最上部からは、多くの登山者・バックカントリー目的の人が入山していました。写真は、第二ケルン手前から山頂方面を撮影したものと